

文学講座

源氏物語を読む

～夕顔(後半)～

(全8回講座)

源氏物語 54帖のうち夕顔の巻は第4帖です。第3帖までのあらすじを知らなくても、夕顔の巻は読めます。その巻に登場する女性を夕顔の君と呼び、亡き後も光源氏を魅了しました。しかしながら、源氏が恋した藤壺の気品、紫の上の優美さ、明石の君の聡明さも、夕顔の君は持ち合わせていません。夕顔の君と源氏の仲を取り持ったのは人ではなく、彼女が身を寄せていた家に咲く夕顔の花です。この巻は朝顔と夕顔、朝と夜に咲く花、いわば光と影の対比が見事に描かれています。前回に引き続き夕顔の魅力について、読み解いて行きましょう。

初回 25年4月20日(日)

※講座日程 5月25日/6月15日/7月20日/

8月17日/9月21日/10月19日/11月16日

※講師都合により日程変更させていただく場合がございます。

【時間】 14:00～15:30

【参加費】 5,000円(資料代含む、初回支払い)

【場所】 6階 創作室1

【定員】 先着60名 ※新規受講者歓迎

【持ち物】 筆記用具

【講師】 岩坪健さん(同志社大学文学部教授)



2025年3月5日(水) 10:30～ 受付開始

申込方法＝電話、センター1階窓口

◇申し込み・問い合わせ 長岡京市中央生涯学習センター

(指定管理者：大阪ガスビジネスクリエイト株式会社)

電話＝075-963-5500



かしこ暮らしっく

長岡京

※お預かりしました個人情報長岡京市中央生涯学習センターが責任を持って管理し、講座・イベントの運営以外の目的には使用いたしません。

※講座・イベント中、記録や広報目的のために写真・動画を撮影し、ホームページ等で使用する場合があります。予めご了承ください。